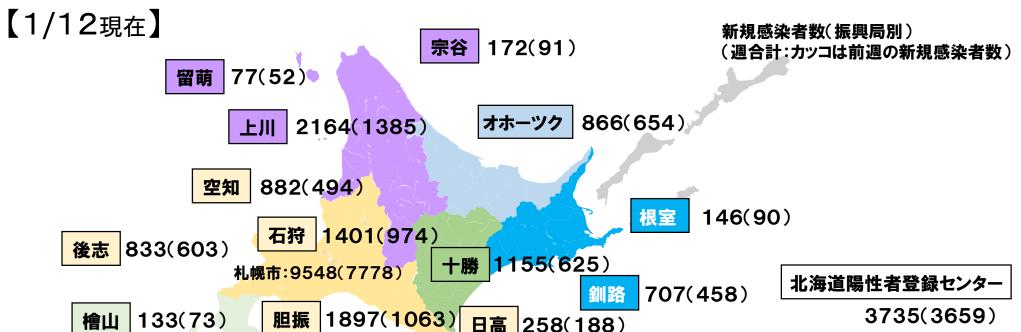
# 道内の感染状況等について

【令和5年1月13日】

# 指標の状況

			指	標	(参	考)	
	1/12	レベル	病床 使用率	重症病床 使用率	10万人当たり 新規 感染者数	新規 感染者数 今週先週比	
	全 道	2	<b>38.0</b> % (914床)	<b>6.5</b> % (8床)	<b>512.1</b> <sub>人/週</sub> (26548 <sub>人/週</sub> )	1.33	
	札幌市	2	<b>37.8</b> % (290床)	<b>9.8</b> % (5床) ➡	487.0 <sub>人/週</sub> (9548 <sub>人/週</sub> )	1.23	
	札幌市を 除く地域	2	<b>38.0</b> % (624床)	<b>4.1</b> % (3床)	527.5 <sub>人/週</sub> (17000 <sub>人/週</sub> )	1.40	
レベル1 レベル2 レベル3 レベル4			0~30%	_	- レベル1・2については病床使用率、レベル		
			30 <b>~</b> 50%	_	3・4については病床使		
			50~80%	50 <b>~</b> 80%	─ 率の指標によることとし、事象も勘案するな 一総合的に判断		
			80% <b>~</b>	80% <b>~</b>			

## 地域における指標の状況



渡島 2574(1762)

- ※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、 変動が大きくなる場合があることに留意。
- ※令和4年9月26日以降、全数届出の見直しに伴い、 振興局別(圏域別)の新規感染者数は届出があった 医療機関の所在地別となっている。
- ※北海道陽性者登録センター分は地域別の内訳が把握 できないため、各圏域の新規感染者数には含まれて いない。

200(100)			
	病床使用率	10万人あたり 新規感染者数	新規感染者数 今週先週比
札幌市	<b>37.8</b> % (290床)	487.0人/週 (9548人/週)	1.23
道央圏 (札幌市除く)	<b>41.7</b> % (225床)	<b>394.2</b> 人/週 (5271人/週)	1.59
道北圏	<b>33.6</b> % (116床)	<b>414.9</b> 人/週 (2413人/週)	1.58
道南圏	<b>55.5</b> % (141床)	658.5人/週 (2707人/週)	1.48
十勝圏	<b>31.3</b> % (56床)	348.0人/週 (1155人/週)	1.85
オホーツク圏	<b>23.7</b> % (33床)	321.5人/週 (866人/週)	1.32
釧路·根室圏	<b>28.8</b> % (53床)	292.1人/週 (853人/週)	1.56

# 総評1

#### 【全国の状況】

○ 全国の新規感染者数について、国の専門家からは、年末年始に一時的に減少した後再び増加傾向が継続し、高い感染レベルとなっている、と指摘されている。1月4日以降、北海道は10万人当たりの新規感染者数が他の都府県と比較し、最も低い水準となっている。

※参考: 1月12日、新規感染者数先週比 山形1.27、東京1.22、大阪1.44、福岡1.65(北海道調べ)

#### 【医療提供体制】

○ 病床使用率については、38.0%と減少している。同様に札幌市も37.8%となっている。地域においては、道南圏で高い水準となっている。重症病床使用率は6.5%と、 横ばいで推移している。

#### 【感染状況】

- 新規感染者数は、年末年始に入り減少が続いていたが、人口10万人当たりでは 512.1人と、増加傾向となっている。年代別では、30代以下の割合が5割を下回って おり、特に10代以下が大きく減少している。
- 道内の流行株は、BA.5系統が主流となっているが、12月27日以降、BQ.1系統及びBQ.1.1系統が11件が確認され、さらに1月11日には、XBB.1系統が道内で初めて確認された。オミクロン株の亜系統は徐々に増加していることから、引き続き、ゲノム解析により、道内における動向を監視していく。

## 総 評 2

○ 季節性インフルエンザについては、全国で流行入りしている。道内においても全道30保健所管内全てで流行入りし、うち3保健所管内では注意報を発令するなど増加傾向が続いている。国の専門家からは、全国では同時期と比べ例年よりも低いが、直近2年間より高い水準にある、と指摘されている。

1/2~1/8	実数 1,247人	1定点当たり 5.49
流行の目安	実数 229人	″ 1.0以上
注意報の目安	(各保健所ごとに発令)	〃 10.0以上

※保健所管内ごとに定点医療機関数は異なるため、流行入りや注意報の実数はそれぞれ異なる。定点報告の詳細は北海道感染症情報センターHPを参照

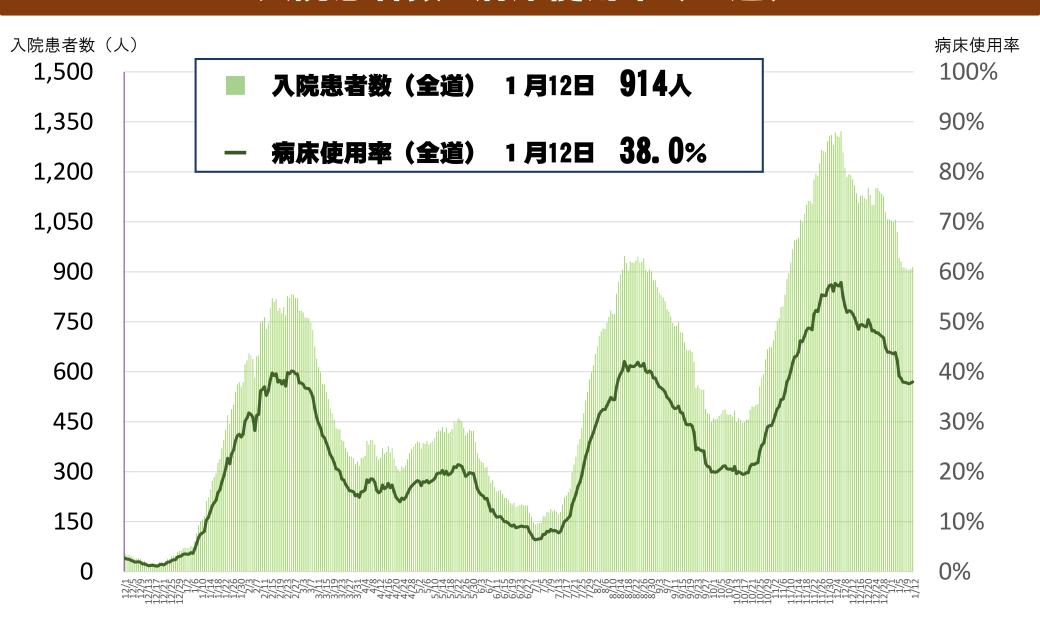
#### 【今後の対策】

- 新規感染者数については、年末年始に入り、減少が続いていたが、現在は増加傾向となっている。医療機関の休診などの影響が考えられることから、今後の状況について慎重にモニタリングを行う。
- 年末年始や冬休みが終わり、生活が通常モードに切り替わる中、道内は引き続き高い感染レベルにあり、季節性インフルエンザも流行入りしているため、道民の皆様に今一度、基本的な感染防止行動の徹底について呼びかけるとともに、3年ぶりに行われる冬のイベントなど、人との接触機会が増える場面では、より一層、取組を徹底するよう、働きかける。

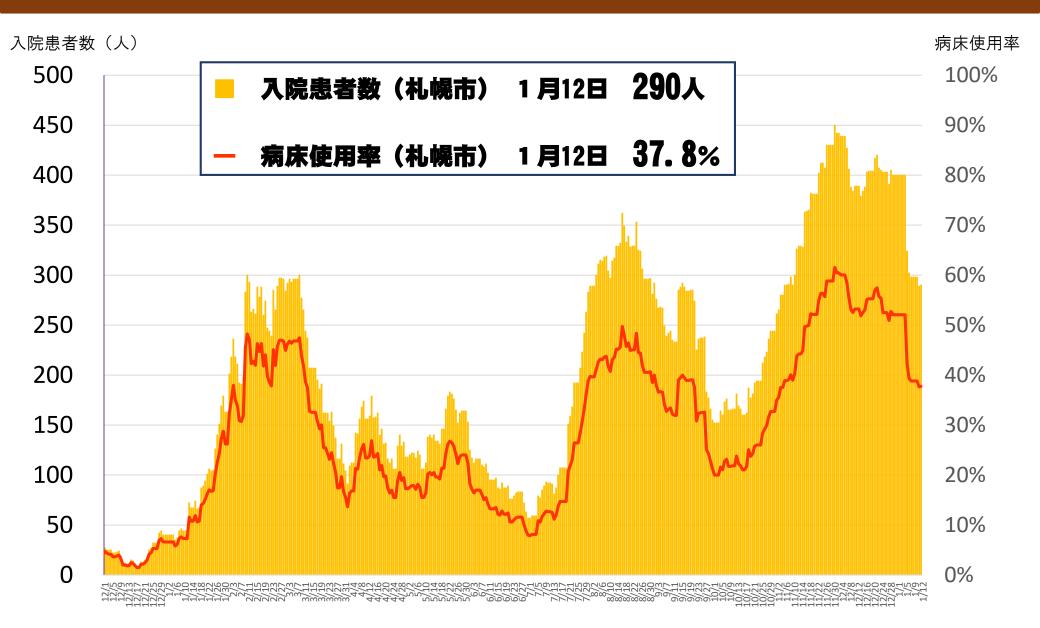
## 総 評 ③

- 10代以下の感染者数の割合は大きく減少しているが、学校の新学期に備え、改めて 児童・生徒や保護者に対し、感染防止行動の徹底について呼びかける。
- ○北海道ワクチン接種センターにおいては、1月14日からオミクロン株対応ワクチンなどの接種を開始する。引き続き、市町村とも連携を図りながら、SNSなど多様な媒体を活用し、接種できる時期が来ている方には、できるだけ早期の接種を検討いただけるよう働きかけていく。
- 無料検査事業については、2月末まで期間を延長することとする。
- 新型コロナウイルスの感染症法上の取扱いについて、国の専門家において、今後の法的位置付けや対策については必要な準備をすすめながら段階的に移行することなどが議論されており、引き続き、国における検討の動向について情報収集を進め、道内市町村や医療関係団体などと共有していく。

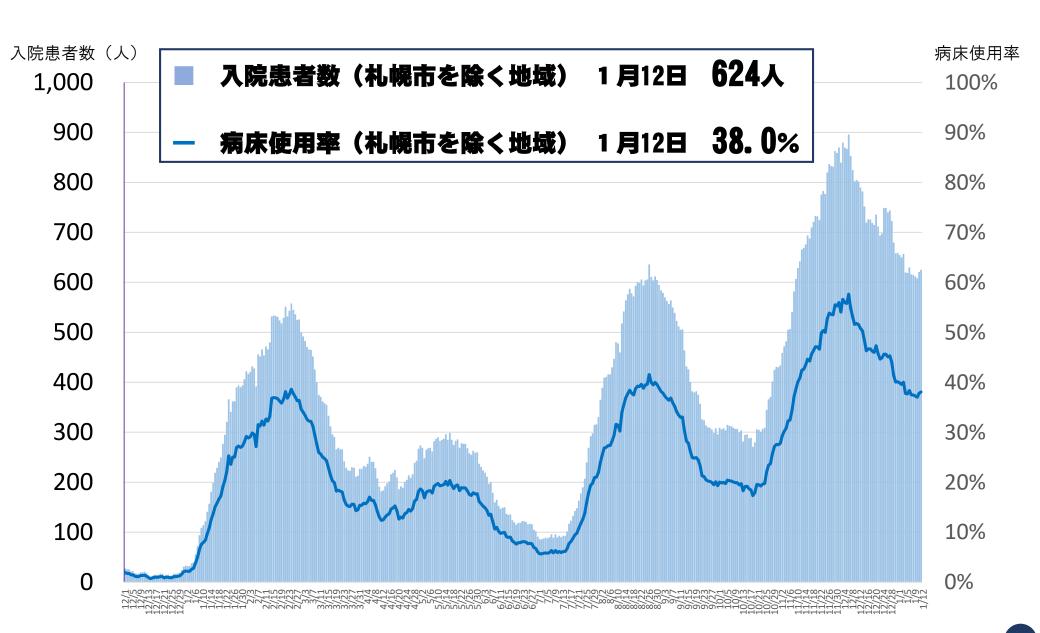
#### 入院患者数と病床使用率(全道)



#### 入院患者数と病床使用率(札幌市)



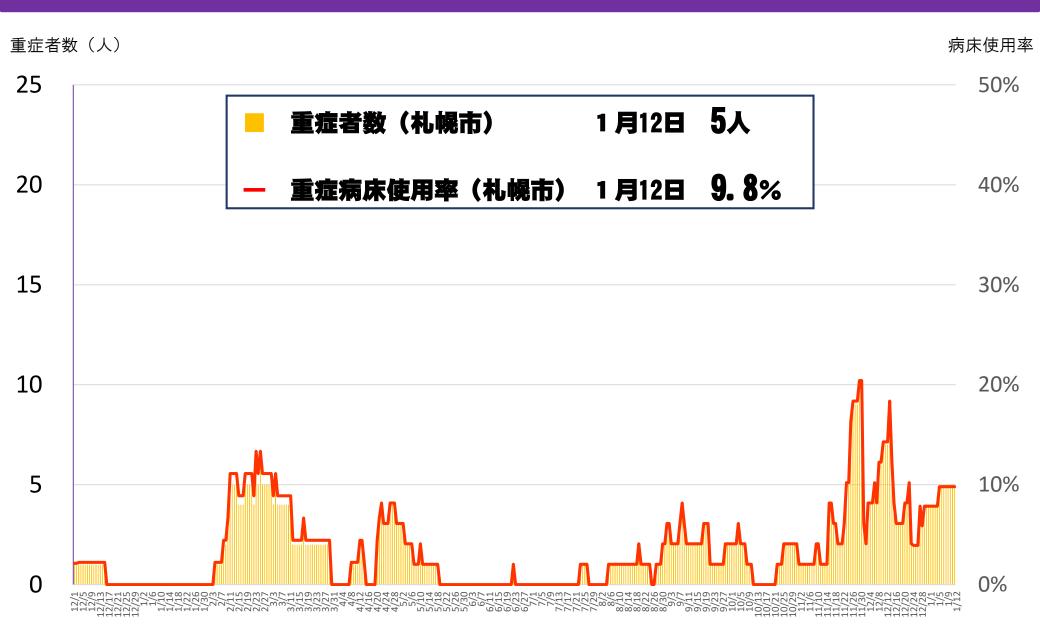
#### 入院患者数と病床使用率(札幌市を除く地域)



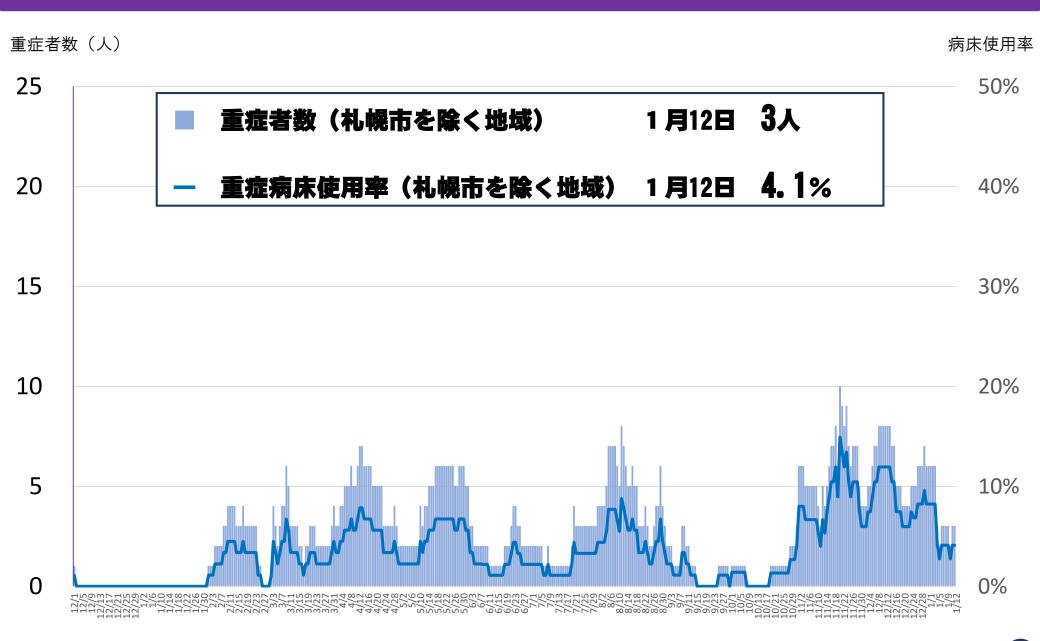
### 重症者数と重症病床使用率(全道)



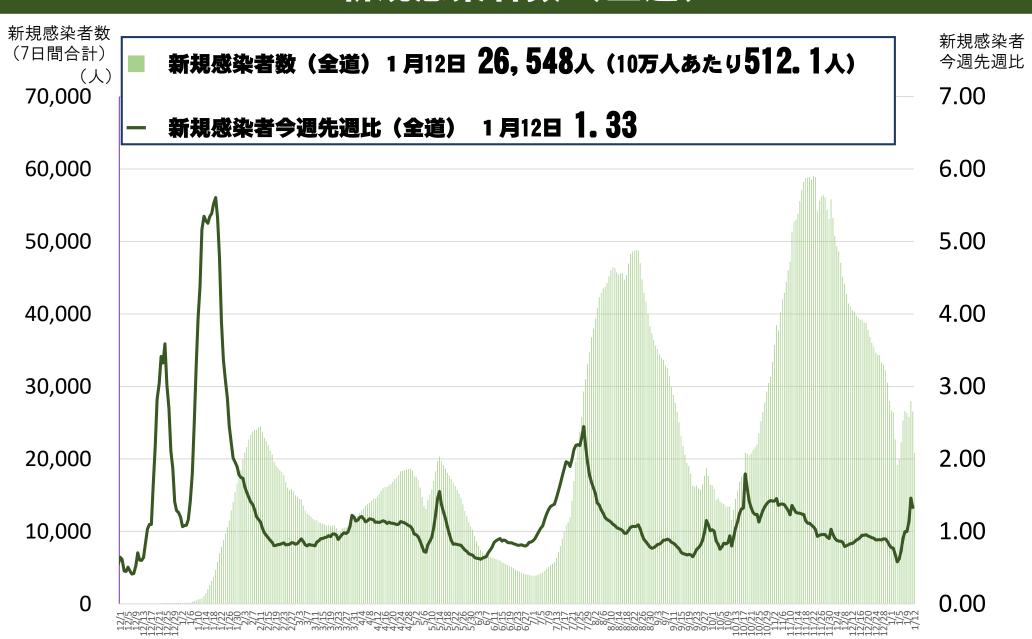
## 重症者数と重症病床使用率(札幌市)



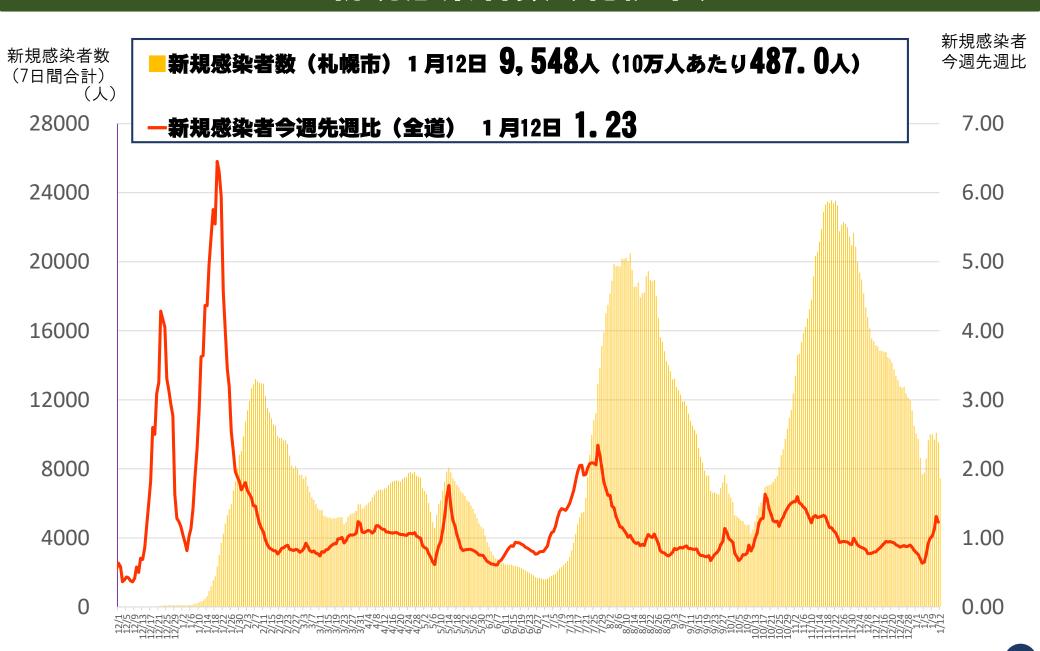
## 重症者数と重症病床使用率(札幌市を除く地域)



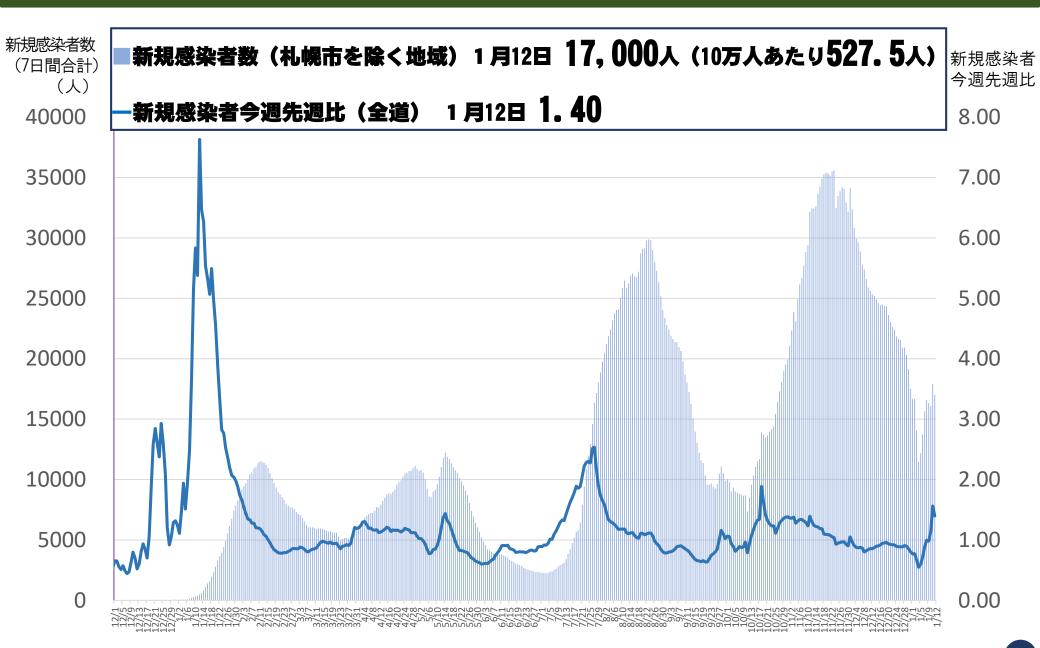
#### 新規感染者数(全道)



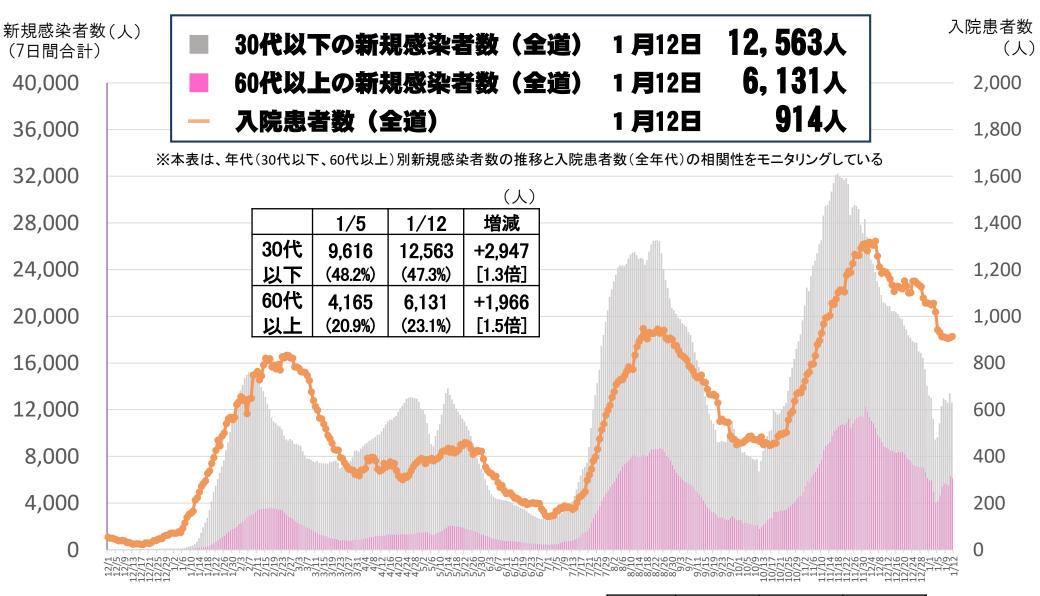
## 新規感染者数(札幌市)



## 新規感染者数(札幌市を除く地域)



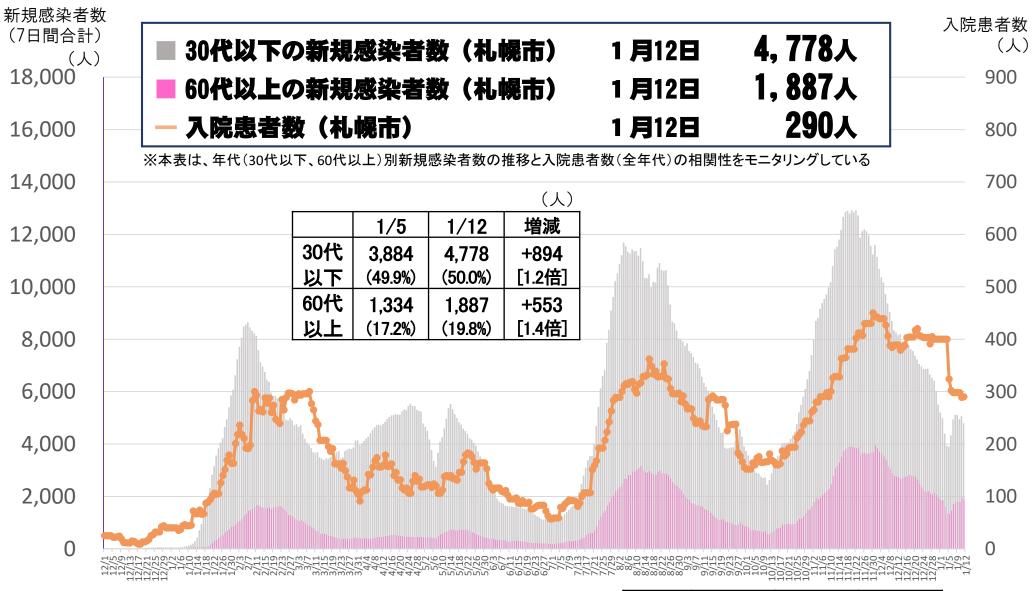
### 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(全道)



(参考)

	1/5	1/12	増減	(人
10/15	1,800	2,272	+472	
10代	(9.0%)	(8.6%)	[1.3倍]	

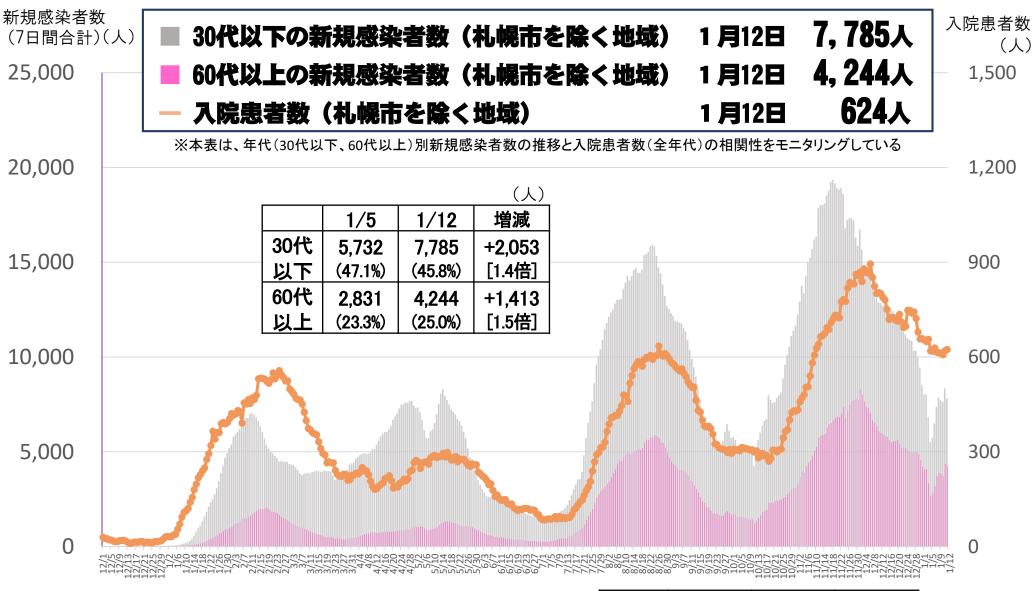
### 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市)



(参考)

	1/5	1/12	増減	(人)
1044	617	825	+208	
10代	(7.9%)	(8.6%)	[1.3倍]	

## 年代(30代以下、60代以上)別新規感染者数(札幌市を除く地域)

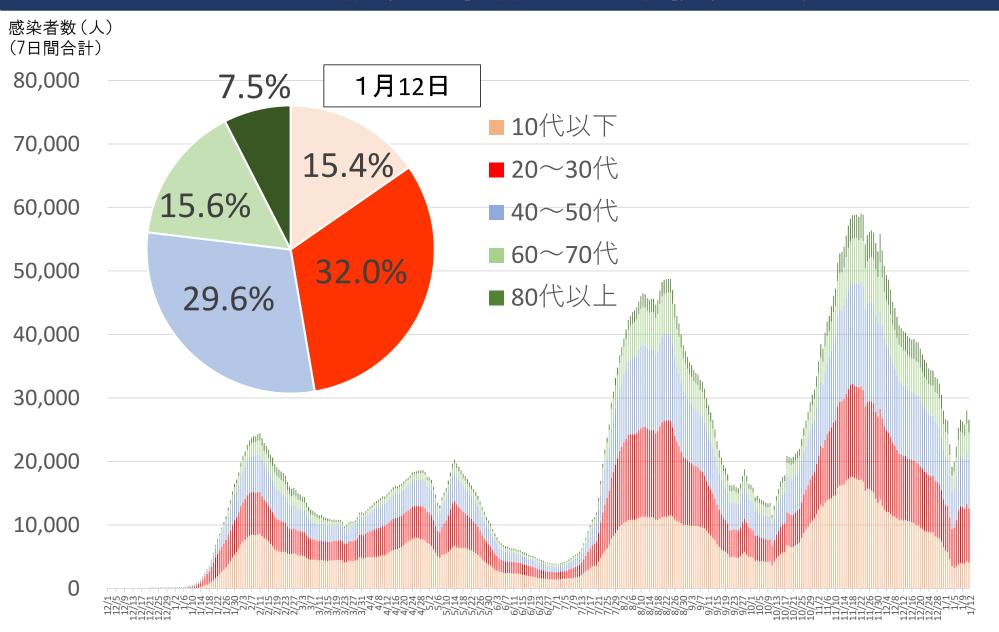


(参考)

(新規感染者のうち年齢不明分を除き集計)

	1/5	1/12	増減	(人)
104	1,183	1,447	+264	
10代	(9.7%)	(8.5%)	[1.2倍]	

## 年代別新規感染者割合と推移(全道)



## 集団感染の発生状況(医療施設・福祉施設)

		12/23~29			12/30~1/5			1/6~1/12			
		合 計		合 計			合 計				
			医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設		医療施設	福祉施設	
4	全道	91件	19件	72件	62件	12件	50件	81件	13件	68件	
	札幌市	8件	_	8件	4件	_	4件	6件	_	6件	
	札幌市を除く地域	83件	19件	64件	58件	12件	46件	75件	13件	62件	

<sup>※</sup>令和4年9月26日以降、集団感染については、発生時以降の増加人数を公表していないため、件数のみを掲載している。

#### 新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種率等)

#### 1 ワクチン接種状況 (医療従事者等分を含む。1/11現在)

#### <オミクロン株対応ワクチン接種の状況>

区分	接種者数	接種率
北 海 道	2,054,793	39.6%
うち65歳以.	上 1,009,139	60.3%

〈参考	⇒区分	接種者数	接種率
	全国	47,248,013	37.5%
	うち65歳以上	22,806,214	63.5%

#### く接種回数毎の接種の状況 ※全年代(5歳以上11歳以下の小児への接種分を含む) >

	<del>5</del> 八	1回目		2回目		3回目		4回目		5回目	
	区分	接種者数	接種率								
#	上海道	4,352,013	84.0%	4,289,231	82.7%	3,647,437	70.4%	2,554,234	49.3%	1,086,545	21.0%
	うち 65歳 以上	1,579,476	94.3%	1,575,483	94.1%	1,523,440	91.0%	1,390,626	83.1%	878,644	52.5%
	うち 小児	59,446	22.1%	56,693	21.1%	22,203	8.3%	-	1	ı	-

<sup>※</sup>接種率は令和4年1月1日現在住民基本台帳の人口に対する割合。なお、上記はVRSの入力値等に基づくものであり(VRS未入力の職域接種分は含まない。 また、1・2回目接種における医療従事者等は首相官邸HP公表値による)、実際の接種率より低い場合等があることに留意。

#### 新型コロナワクチン接種の取組状況等について(接種の促進)

#### 2 北海道ワクチン接種センター(予約状況)

- オミクロン株対応ワクチン(ファイザー)~1月28日までの予約を受付中であり、**全日程で空きがある状況**。
- ノババックスワクチン~1月15日、29日の予約を受付中であり、**両日とも空きがある状況**。

	接種会場			ホテルエミシア札幌(札幌市厚				厚別区厚別中央2条5丁目)					
	使用ワクチン	,	オミクロン	株対応ワクチン(フ	'アイザー)		ノバハ	バックスワク	7チン				
			令	和4年秋開始接種	锺	初回	接種	令和4	4年秋開始	接種			
	対応接種回	奴	3回目	4回目	5回目	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目			
	対象年齢		初回接	種を終了した12点		12歳	以上		18歳以上				
	接種券		◆3·4·5回目用の接種券 ◆オミクロン株対応ワクチン用接種券			1~5回目用の接種券							
	接種期間 令和5年1月14日~3月25日の延べ18日間			令和5年1月15日~3月26日の延べ6日間				1間					
		1月	14日(土)、21	日(土)、22日(日	1)、28日(土)	15日(日	)、29日(	日)					
	実施日	2月		日)、11日(土·祝) 日(木·祝)、25日(		12日(日)、26日(日)							
		3月		4日(土)、5日(日)、11日(土)、18日(土)、 19日(日)、21日(火·祝)、25日(土)			12日(日)、26日(日)						
	1+ 7= / L 4+/		1日当たり、360:	名		1日当たり、240名							
	接 <b>種</b> 体制		協力機関:北海道	首医師会、札幌医	科大学、北海道第	薬剤師会、北海道看護協会等							
	予約受付						:10:00~	·18:00	WFR: 道のホームページからアクセス(24時間受付)				